

7.24 大村市視察に向けた概要説明

「中小企業振興基本条例」を活かした
地域づくりと官民連携の仕組みを学ぶ

日田商工会議所 キャッシュレス委員会

視察の「真の目的」とは？

表面的なテーマ（視察のきっかけ）

- キャッシュレス推進
- 地域通貨
- DX推進 ※大村市へも当初この文脈で依頼が先行

本質的なテーマ（本当に学びたいこと）

- 「中小企業振興基本条例」を活かした地域づくり
- 施策を生み出し、継続させる「官民連携の仕組み」

※本主旨に沿って大村市側と調整済

今回の視察は、戦術（キャッシュレス）も学ぶと同時に、より本質的な戦略（持続可能な仕組みづくり）も学ぶための思考の枠組みの転換です。

なぜ、視察先に「大村市」を選ぶのか？

	日田市	大村市
現状の成果	課題山積（人口減少・若者流出）	人口増加傾向・若者流入・ 企業立地・子育て支援の充実
条例の運用	存在はするが形骸化・継続性不足	「条例を作って終わり」に にしていない
民間の姿勢	温度差あり・属人化	官民連携で継続的に推進

大村市の最大の強みは、条例をベースとした
「課題解決に向けた施策が継続的に実行される土壌」にあります。

日田市中小企業振興基本条例

条例制定までの歩み

2010年(平成 22年)

中小企業憲章が閣議決定される

2013年(平成 25年)

大分県中小企業活性化条例制定

2016年(平成 28年)

日田市中小企業振興基本条例制定

※大村市は2013年に条例の制定



関連資料: 中小企業憲章・条例冊子等

日田市中小企業振興基本条例

日田市中小企業振興基本条例の概要

目 的

中小企業の振興に関し、基本理念、市の責務等及び施策の基本となる方針を定め、中小企業の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進することにより、中小企業の活性化を図り、もって本市経済の持続的な発展及び市民生活の向上に寄与する。

基本理念

中小企業の自主的な努力と創意工夫を尊重して推進

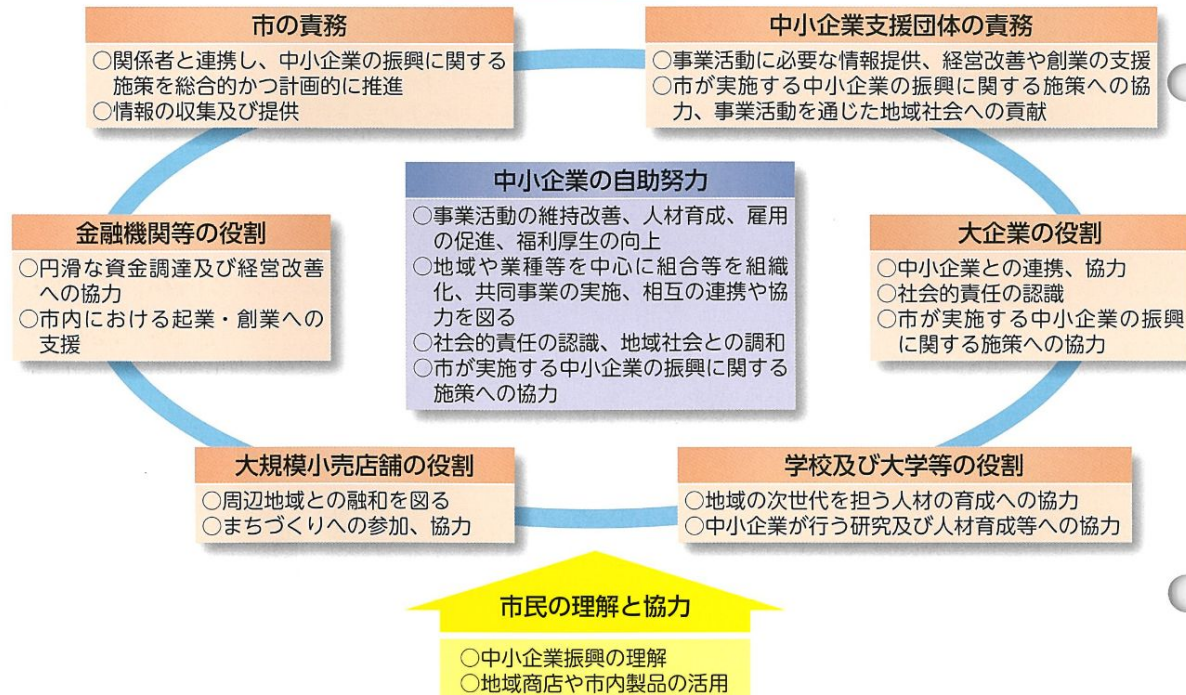
本市の有する自然、人材、技術等の資源を総合的に活用して推進

市、中小企業支援団体等が中小企業とともに相互に連携して推進

小規模企業の経営面、資金面に配慮する等、経営規模を勘案して推進

日田市中小企業振興基本条例

責務と役割



日田市中小企業振興基本条例

基本方針

経営基盤の
安定強化

中小企業の活用による地
域内の経済循環の創出

経営の拡大及び
新分野への進出促進

創業の促進

人材の確保・育成と
事業環境の整備

- 中小企業や関係者からの意見聴取
- 中小企業振興のための計画の策定
- 財政上の措置

中小企業の活性化

日田市中小企業振興基本条例

理想

- 目的と4つの基本理念
- 中小企業の自助努力による責務と役割
- 振興推進会議の構成による具体化
- 5つの基本方針に沿った施策実施
- 条例第13条～第17条に基づく事業展開

現状

- 行政主導による会議の形式化
- 市議会等の都合による不安定な日程
- 参加者の選定が行政に委ねられている
- 事業者も行政まかせにしている

多くの自治体は行政主導で形骸化

基本方針

経営基盤の
安定強化

中小企業の活用による地
域内の経済循環の創出

経営の拡大及び
新分野への進出促進

創業の促進

人材の確保・育成と
事業環境の整備

令和7年度 日田市中小企業振興に係る事業一覧

日田市中小企業振興基本条例及び日田市中小企業振興計画に定める5つの基本方針に基づき、中小企業の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、以下に掲げる事業を実施します。

1 経営基盤の安定強化（条例第13条関係）

(1) 経営に関する相談及び指導の充実

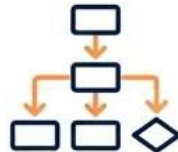
※以下、予算額は千円単位で表示

事業名	①R7 予算額 ② (R6 予算額)	③R6 実績	④事業概要	⑤担当課
日田市ビジネスサポートセンター運営事業	23,211 (24,317)	相談件数 858 件	地域経済の活性化を図るため、既存事業者や創業希望者がワンストップで相談・支援を受けられるビジネスサポートセンターを運営するもの。	商工労働課
中小企業振興補助金(中小企業相談所)	3,000 (3,000)	巡回 1,283 件 窓口 150 件	小規模企業の経営相談の充実のため、商工会議所内に設置している「日田中小企業相談所」の運営を支援するもの。	
商工会議所等補助金(日田地区商工会補助金)	7,970 (7,970)	巡回 1,206 件 窓口 748 件	小規模事業者の経営改善や地域商工業の振興発展のために行う各種事業に対して支援を行うもの。	

本視察で重点的に学ぶ6つのポイント



会議体運営と専門部会
(形骸化を防ぐ仕組み・役割)



提言から施策化のフロー
(実行力を伴うプロセス)



若者定着と人材確保
(具体的なアプローチ手法)



官民連携の維持
(民間主体の熱量をどう保つか)



DX・キャッシュレスの活用
(地域政策との結びつけ)



継続できる仕組みづくり
(属人化からの脱却)

7月24日 視察スケジュールと参加体制

参加体制（産官民の総力戦）

【商工会議所】

正副会頭・議員・
キャッシュレス委員会

【行政】

日田市役所
商工労政課

【民間】

大分県中小企業家同友会
日田支部

13:30～

大村市長による
現状報告

16:00

大村市商工振興課や
大村商工会議所との意見交換

「大村市はすごい」で終わらせないために

・日田市の
「中小企業振興基本条例」
への魂の注入と再活用

・商工会議所が果たすべき
「新たな役割」の定義

・行政との強固な
連携体制の構築

・今後の日田市の
商工施策への
直接的な反映

「日田市の商工施策を考えるための視察」
再び活発に議論するきっかけにしましょう。